

# 令和3年度 北海道八雲高等学校 自己評価書

## 1 本年度の重点目標

- (1) 生命尊重や人権擁護の精神の基、生徒の心の琴線に触れる教育を推進する学校
- (2) 生徒一人ひとりの学力向上を目指し、主体的でより高い資質・能力を育成する学校
- (3) 生徒や保護者の負託に応え、個々が希望する進路の実現が果たせる学校
- (4) 保護者や地域から信頼され、生徒にとって魅力ある居心地のよい学校
- (5) 職員が協働意識を持って仕事に取り組み、お互いの強みを生かし合う風通しの良い学校

2 評価基準 評価は4段階。(4 大変良くできている 3 概ね良くできている 2 あまりできていない 1 できていない)

## 3 自己評価の結果

分野	番号	評価項目	年度末評価	主な取り組み
総務	1	教育活動や校務運営の円滑化・効率化を図る	3.2	・各種式典・行事の内容検討の見直し ・避難訓練の実践的見直し(一日防災学校の実施) ・校務運営の効率化 ・各種奨学金の事務および指導
	2	各種ファイルの収集管理及び整備と活用を図る	3.1	・事務的業務の効率化 ・書類の整理(個人情報収集のルール化と管理の徹底)
	3	関係諸団体との連携を密にし、協力体制の確立に努める	3.3	・父母と教師の会との協力体制を図る ・PTAだよりの発行
	4	外部への積極的な広報活動を推進する	3.3	・八雲高校通信の発行 ・ホームページの簡便性とタイムリーな更新
教務	5	基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、意欲的に知識・技能を活用する姿勢を育てる学習活動の工夫・改善を図る	3.0	・生徒の学力の実態把握 ・学ぶ態度の育成 ・授業研究の推進と充実 ・教科・学年・分掌との連携 ・シラバスの内容の充実と改善
	6	現状分析と学習環境の整備を図るとともに、個々の生徒に対応しうる授業力の向上を図る	3.2	・入学者選抜学力検査や入学後の学力・学習状況の分析 ・各種調査や生徒による授業評価の有効活用 ・校内研修の充実(3観点別評価の理解と授業改善)
	7	家庭学習の定着を一層推進するとともに、家庭学習の取組が評価に反映されるような評価方法や指導方法への改善を図る	2.9	・家庭学習習慣化指導の充実 ・評価規準、評価方法の工夫改善(3観点別評価方法の段階的構築)
	8	焦点化した生徒の課題の解決に向けた教育課程の円滑な運用を図る	3.1	・新教育課程編成(学校教育目標と地域や生徒の期待の調和を図る)
	9	図書、視聴覚機器の充実を図り、教育環境づくりに努める	3.3	・閲覧室、司書室の整備と図書資料の整備・精選 ・図書委員会の活性化 ・各教科、生徒への購入図書希望調査 ・視聴覚機材の整備、充実 ・学校行事の記録(写真、ビデオ)と管理
生徒指導	10	基本的な生活習慣の確立を図る	3.2	・遅刻防止指導の重点化 ・身だしなみ点検の定期実施
	11	地域、家庭、関係機関等との連携を強化し、調和のとれた個性の伸長を図る	3.1	・巡回指導の実施
	12	生徒会活動の充実を図る	3.4	・生徒主体の生徒会行事の展開 ・各種委員会の活性化 ・部活動の活性化
	13	学校保健活動、教育相談、性に関する健康教育指導の充実を図る	3.4	・教育相談体制の充実 ・性教育講話の実施
	14	環境整備の推進を図る	3.2	・ごみ分別の徹底 ・定期的な校舎外清掃の実施
	15	情報モラル、交通安全、薬物乱用防止等の指導の推進を図る	3.4	・諸講話の実施
	16	特別支援教育の充実を図る	3.4	・定期的な支援委員会の実施 ・特別支援教育の認定、実践
進路指導	17	生徒一人一人の能力、適性に合った進路目標設定への援助と、その実現を図る	3.4	・個別面談の実施 ・進路ガイダンス、進学相談会、講演会の充実 ・段階的進路指導の明確化
	18	進路指導資料の収集・分かりやすい提示・効果的運用を図る	3.3	・データの有効活用 ・適正な情報提供
	19	職業観や社会性の育成を図る	3.2	・「総合的な探究の時間」の活用 ・インターンシップの充実に向けた課題の整理と実施内容等の検討
	20	講習体制の効果的運用を図る	3.2	・進路希望に合わせた指導の充実 ・より効果的な実施を目指した講習体制の見直し